

そろどりの「春」



大村神社のオオムラザクラ

花のまち大村が開花

サクラが咲き乱れる大村の春。「おおむら花まつり」が始まります。「日本さくら名所百選」の地に選ばれた大村公園では、約2千本のサクラが咲き誇り、たくさんの花見客でにぎわいます。国指定天然記念物「大村神社のオオムラザクラ」は、ここで見られない名桜です。

裏見の滝自然花苑では、しゃくなげ祭りも開催。世界のシヤクナゲが色とりどりに、5月上旬まで楽しめます。新緑がまぶしい5月、野岳湖公園は「のだけ新茶まつり」でにぎわいます。

熱気溢れる「夏」



夏越総踊り

熱気に包まれる夏祭り

梅雨入りすると、大村公園のハナシヨウブが見ごろを迎えます。九州最大級の菖蒲園では、優雅で気品あるハナシヨウブが彩ります。

毎年8月1日からの3日間、大村は祭り一色に。花火大会で祭りの幕が上がると、「おおむら夏越まつり」が始まります。ファイナレを飾るのは、「夏越総踊り」。駅前通りを市民が2時間踊り続け、会場は熱気に包まれます。このほか、「竹松ゆかたまつり」など、各地区でも地域総出の夏祭りで盛り上がります。

大村の四季

実り豊かな「秋」

耐えつぼむ「冬」



ロザ・モタ杯おおむらロードレース大会



大村城下町灯籠まつり

秋の実りに感謝して

実り多き秋。市内各地では、新鮮な農産物が出展される秋まつりが次々と開催され、収穫の秋を祝います。「フルーツの里ふくしげ」では、ブドウ狩りやナシ狩りを楽しむ家族連れでにぎわい、秋の味覚を思う存分に味わえます。

また、鉢巻山のヒガンバナや野岳湖周辺のコスモスも盛り一面に花を咲かせ、行楽客を楽しませます。城下町では、武家屋敷をライトアップする灯籠まつりを開催。幻想的な雰囲気にもまれながら、秋の夜長を演出します。

長い冬を耐え、つぼみ膨らむ

大村の冬は、ナマコ漁の解禁とともに始まります。大村港馬場先波止では、新鮮な海の幸を堪能できるカキまつりが開催され、カキやナマコ、サザエなどが直売されます。

市内各地区では、マラソンや駅伝大会が盛んに開催され、老若男女が健脚を競い、汗を流します。

かつての宿場町のにぎわいを再現する「長崎街道大村藩宿場まつり」が開催される頃には、長い冬を耐え、春を彩る木々たちがつぼみを膨らませています。